

令和4事業年度

JA赤城たちばなの経営概況

発行 令和 5 年 6 月

赤城橘農業協同組合

〒379-1124

群馬県渋川市赤城町滝沢64番地2

TEL 0279-56-4151

FAX 0279-56-4152

目 次

ごあいさつ

1. 経営理念	1
2. 経営方針	1
3. 経営管理体制	1
4. 事業の概況（令和4事業年度）	2
5. 農業振興活動	2
6. 地域貢献情報	3
7. リスク管理の体制	3
(1) リスク管理の基本方針	3
(2) リスク管理体制の内容	3
(3) 監査体制	3
8. 法令遵守（コンプライアンス）の体制	3
(1) 基本方針	3
(2) 法令遵守の体制	3
9. 金融ADR制度への対応	4
10. 自己資本の状況	4
11. 主な事業の内容	5

【経営資料】

I 決算の状況

1. 貸借対照表	15
2. 損益計算書	17
3. 注記表	19
4. 剰余金処分計算書	41
5. 部門別損益計算書	43
6. 財務諸表の正確性等にかかる確認	44
7. 会計監査人の監査	45

II 損益の状況

1. 最近5事業年度の主要な経営指標	46
2. 利益総括表	46
3. 資金運用収支の内訳	47
4. 受取・支払利息の増減額	47

III 事業の概況

1. 信用事業	48
(1) 貯金に関する指標	48
①科目別貯金平均残高	48
②定期貯金残高	48
(2) 貸出金等に関する指標	48
①科目別貸出金平均残高	48
②貸出金の金利条件別内訳残高	48
③貸出金の担保別内訳残高	49
④債務保証見返額の担保別内訳残高	49
⑤貸出金の用途別内訳残高	49
⑥貸出金の業種別残高	50
⑦主要な農業関係の貸出金残高	50
⑧農協法に基づく開示債権の残高および金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全残高	52
⑨元本補てん契約のある信託に係る農協法に基づく開示債権の状況	53
⑩貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額	53
⑪貸出金償却の額	53
(3) 内国為替取扱実績	53

(4) 有価証券に関する指標	54
① 種類別有価証券平均残高	54
② 商品有価証券種類別平均残高	54
③ 有価証券残存期間別残高	54
(5) 有価証券の時価情報等	55
① 有価証券の時価情報等	55
② 金銭の信託の時価情報等	55
③ デリバティブ取引、金融等デリバティブ取引、有価証券関連店頭デリバティブ取引	55
2. 共済取扱実績	56
(1) 長期共済新契約高・長期共済保有高	56
(2) 医療系共済の共済金額保有高	56
(3) 介護系その他の共済の共済金額保有高	57
(4) 年金共済の年金保有高	57
(5) 短期共済新契約高	57
3. その他事業実績等	58
(1) 購買事業品目別取扱実績	58
(2) 販売事業品目別取扱実績	58
(3) 保管事業収支内訳	58
(4) 指導事業収支内訳	59
 IV 経営諸指標	
1. 利益率	60
2. 貯貸率・貯証率	60
 V 自己資本の充実の状況	
1. 自己資本の構成に関する事項	61
2. 自己資本の充実度に関する事項	63
3. 信用リスクに関する事項	66
4. 信用リスク削減手法に関する事項	70
5. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項	70
6. 証券化エクスポージャーに関する事項	70
7. 出資その他これに類するエクスポージャーに関する事項	71
8. リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項	71
9. 金利リスクに関する事項	72
 【JAの概要】	
1. 組織機構図	74
2. 役員一覧	75
3. 会計監査人の名称	75
4. 組合員数	76
5. 組合員組織	76
6. 特定信用事業代理業者の状況	76
7. 地区一覧	77
8. 店舗一覧	77
9. 沿革・歩み	77

ごあいさつ

平素よりＪＡ事業に対し特段のご理解と多大なるご協力をいただき深く感謝申し上げます。

令和４年度におきましては、新型コロナウイルス感染症への対応、またウクライナ戦争に伴うロシアへの経済制裁により、昨年２月以降エネルギーや金属をはじめ、穀物などの価格高騰に拍車がかかり、さらに欧米との金利格差や円安も手伝って我が国経済に甚大な影響を及ぼしています。農業におきましても、燃油や生産資材の価格高騰、原材料不足など農業経営に与える影響は大きく、コメや生乳・乳製品の需要緩和問題、自然災害・家畜伝染病の発生や労働力不足など課題は山積みしております。

このような状況の中、当ＪＡ赤城たちばなでは出荷用資材、肥料、燃油及び飼料の価格が上昇し続け、多大な影響を受けている農家に対し、農畜産物の安定した生産・販売ができるよう可能な限りの支援に努めてまいります。

また、訪問活動や生産者組織を通じた「担い手との対話」を原点として、持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ総合事業を基本とした「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

ＪＡ北群渋川との合併につきましては、組合員皆様からのご意見を拝聴するため、合併構想に係る座談会を開催してまいりましたが、合併スケジュール等課題が山積しており当初仮置きした令和６年３月１日の合併予定日が延期となりました。今後も合併研究会を継続し、２ＪＡ間の事業連携や役職員交流などを通じ合併研究を深めてまいります。

これからも組合員から信頼され必要とされるＪＡを目指し、組合員や利用者の負託にこたえ、地域になくてはならないＪＡであり続けるため、組合員皆様とともに役職員一丸となり努力していく所存であります。

結びに、組合員皆様のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

赤城橘農業協同組合
代表理事組合長 萩原一夫